

令和5年度 金沢市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和6年6月

金沢市（石川県）

○計画期間:令和4年4月～令和9年3月(5年)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和5年度終了時点(令和6年3月31日時点)の中心市街地の概況

金沢市では、旧法計画及び認定計画（第1期、第2期、第3期）に基づく、中心市街地活性化の取組により、都市機能の低下を食い止め、伝統と賑わいが調和した金沢ならではのまちづくりを進めており、令和3年度には、住む人と訪れる人が「しあわせ」を共創する持続可能なまちを実現することを目指し、「住む人にも訪れる人にも快適で楽しいまちづくり」「人も地球も元気になるまちづくり」「文化やまちの個性を磨き高めるまちづくり」を基本的な方針とする第4期認定計画を策定した。

計画の2年目となる令和5年度には、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、一応の終息を見たところであるが、1月には能登半島地震が発生し、地域経済は一層先行き不透明な状況となったものの、地域の事業者への継続的な支援や、新型コロナウイルス感染症の影響により中止を余儀なくされていた賑わい創出イベントの再開などにより、目標値には届かないものの、中心商業地への来街者や市文化施設の入館者が増加するなど、徐々に中心市街地は賑わいを取り戻しつつある。

また、まちなかマンション購入奨励金制度等の活用によるまちなか居住が進んでおり、45歳未満の年間社会動態が回復傾向にあるが、目標値には届いていない現状となっている。

今後は、能登半島地震の影響を注視し、引き続き各種取組を多面的、重層的に進めるとともに、都市再生緊急整備地域の指定を目指すなど、新たな取組に着手することにより、民間の都市開発を含め社会経済活動を活発化させ、反転攻勢をかける。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(基準日：毎年度1月1日)

(中心市街地 区域)	令和3年度 (計画前年度)	令和4年度 (1年目)	令和5年度 (2年目)	令和6年度 (3年目)	令和7年度 (4年目)	令和8年度 (5年目)
人口	53,021人	52,254人	51,621人			
人口増減数	▲479人	▲767人	▲633人			
自然増減数	▲701人	▲677人	▲709人			
社会増減数	222人	▲90人	76人			
転入者数	2,000人	1,936人	1,964人			

2. 令和5年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

金沢市と協議会との間において、現在に至るまで基本計画の進捗状況についての意見交換を実施しており、事務局である金沢商工会議所や(株)金沢商業活性化センターなどと連携をとりながら基本計画に基づいた取り組みが進められている。

令和5年度は現行の第4期基本計画の2年目であったが、4つの数値目標のうち2つの項目において基準値を下回る結果となった。

しかしながら、計画の進捗状況に対する現状分析や新たに生じた課題の解決に向けた取り組みを図るなど一定の評価に値するものと思われる。

本年1月には能登半島地震が発生し、先行き不透明な状況であるが、今後も市街地再開発事業やまちなか定住促進事業、文化施設活性化事業などの主要事業が着実に遂行されることはもちろんであるが、都市再生緊急整備地域の指定への取組等の新たな事業を中心市街地活性化基本計画に盛り込み、中心市街地の更なる活性化を積極的に進めていくことを期待する。

II. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
まちなかの定住者数を増やす	中心市街地の45歳未満人口の年間社会動態	▲15人/年 (H29～R2平均)	60人/年 (R8)	▲79人 (R5)	C	①	①
ウォーカブルなまちなかを形成する	主要商業地の休日の歩行者・自転車通行量	59,155人 (R2) 参考(GPS) 30,836人 (R2)	103,600人 (R8) 参考(GPS) 43,289人 (R8)	実施なし (R5) 参考(GPS) 34,811人 (R5)	-	①	①
公共交通を優先したまちなかの交通環境を整える	まちなかにおける自動車分担率	45% (H30)	42% (R8)	48% (R5)	C	①	①
歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	中心市街地の市文化施設(14施設)と金沢未来のまち創造館の利用者数	171,206人 (R2)	357,000人 (R8)	275,950人 (R5)	B	①	①

<基準値からの改善状況>

A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない

<目標達成に関する見通しの分類>

①目標達成が見込まれる ②目標達成が見込まれない

※関連する事業等の進捗状況が順調でない場合はそれぞれ1、2とする。

2. 目標達成見通しの理由

「中心市街地の45歳未満人口の年間社会動態」

基準値を下回ったものの、数値が回復傾向にあり、今後、都市再生緊急整備地域指定を目指すこととしており、民有の大規模用地・跡地等における民間都市開発等の促進・機運醸成がなされることで、まちなかにおける人口増加が見込まれるところであり、引き続き事業を継続することにより、目標達成をめざす。

「主要商業地の休日の歩行者・自転車通行量」

計測方法の変更に伴い、カウンター方式での集計はR5年度は実施していない。新型コロナウイルス感染症の5類移行による賑わい創出イベントの再開等により、来街者が増加し、目標値である新型コロナウイルス感染拡大前の水準には及ばないものの、基準値を上回るなど順調に回復しており、参考値として記載したGPSによる計測方法によるデータに基づくと、引き続き事業を継続することにより目標の達成は可能と見込まれる。

「まちなかにおける自動車分担率」

新型コロナウイルス感染拡大前の水準である基準値は下回ったものの、「自転車利用促進事業」における「まちなか」の利用者数の増加や、「パーク・アンド・ライド駐車場」の利用も順調に回復してきており、引き続き事業を継続することにより目標の達成は可能と見込まれる。

「中心市街地の市文化施設（14施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数」

目標値である新型コロナウイルス感染拡大前の水準には及ばないものの、基準値を上回るなど順調に回復している。

また、金沢未来のまち創造館の利用者数はすでに目標値を上回っており、引き続き事業を継続することにより目標の達成は可能と見込まれる。

3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

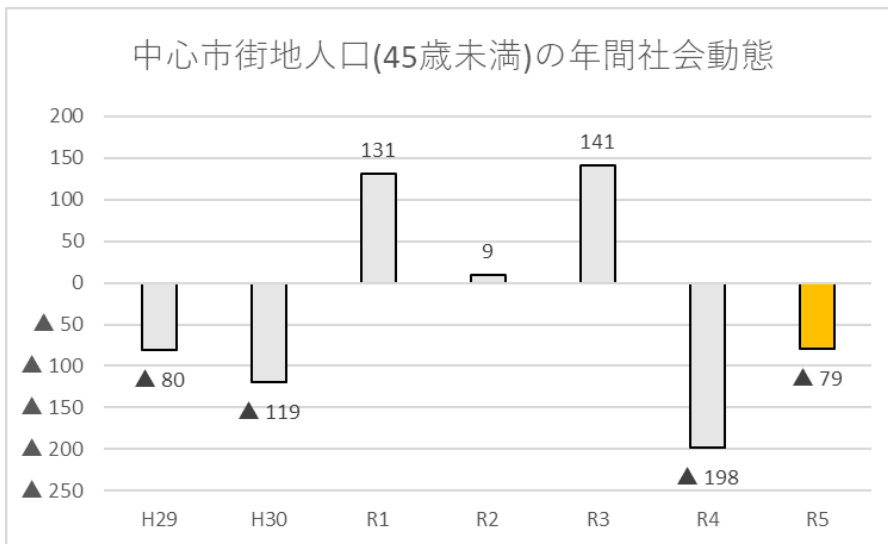
なし

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1) 「中心市街地の45歳未満人口の年間社会動態」

※目標設定の考え方認定基本計画 P. 52～P. 54 参照

●調査結果と分析



年	(単位)
R29 ～R2 平均	▲ 15 (基準年値)
R3	141
R4	▲ 198
R5	▲ 79
R6	
R7	
R8	+60 (目標値)

※調査方法： 住民基本台帳より集計

※調査月： 令和6年1月

※調査主体： 金沢市

※調査対象： 中心市街地活性化基本計画区域内の45歳未満の住民

〈分析内容〉

令和4年度に引き続き、令和5年度においても、転出超過となったが、改善傾向にある。今後、新型コロナウイルス感染症の5類への移行や、能登半島地震の発生を受けて、国内外からの転入出の動きを注視していく必要がある。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. まちなか定住促進事業（金沢市）

事業実施期間	平成10年度～【実施中】		
事業概要	まちなか区域において、戸建て住宅の取得や分譲マンションの購入に助成する。		
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし		
事業目標値・最新値及び進捗状況	○まちなかマンション購入奨励金制度における 認定マンション住戸数 R1～R5：183戸 今後片町四番組海側地区において分譲マンションを含む複合施設が計画されている。		
	○各種奨励金制度活用状況（中心市街地のみ） 目標値：95人（H28～R2 平均）		
	制度	R5利用者数	うち45歳未満
	まちなかマンション購入	65人	42人
	住宅取得	46人	43人
	計	111人	85人
事業の今後について	引き続き、各種奨励金制度の周知を進め、まちなかへの居住を促進する。		

②. 「学生のまち・金沢」推進事業（金沢市）

事業実施期間	平成22年度～【実施中】		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢学生のまち市民交流館を拠点に、学生団体等と協働し、まちなかの商店街との連携イベント等を実施 ・まちなかに居住し地域でのコミュニティ活動を行う学生に奨励金を交付（R3～） 		
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和4年4月～令和9年3月）		
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>評価：多数のイベント開催により、まちなかの賑わい創出を促進している。</p> <p>○金沢まちづくり学生会議の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OPEN CITY in KANAZAWA の開催 		

	(目標値：80名 参加者約60名) ・木倉町ふうりんまつりへの参加 ・まちなか学生まつりの開催(来場者約500名) ○学生団体SNOUの活動 ・歴史的空間再編コンペティションの開催
事業の今後について	・事業を継続して行き、まちなかの賑わいを創出するとともに、金沢への愛着を深めることで定住を促進する。

●目標達成の見通し及び今後の対策

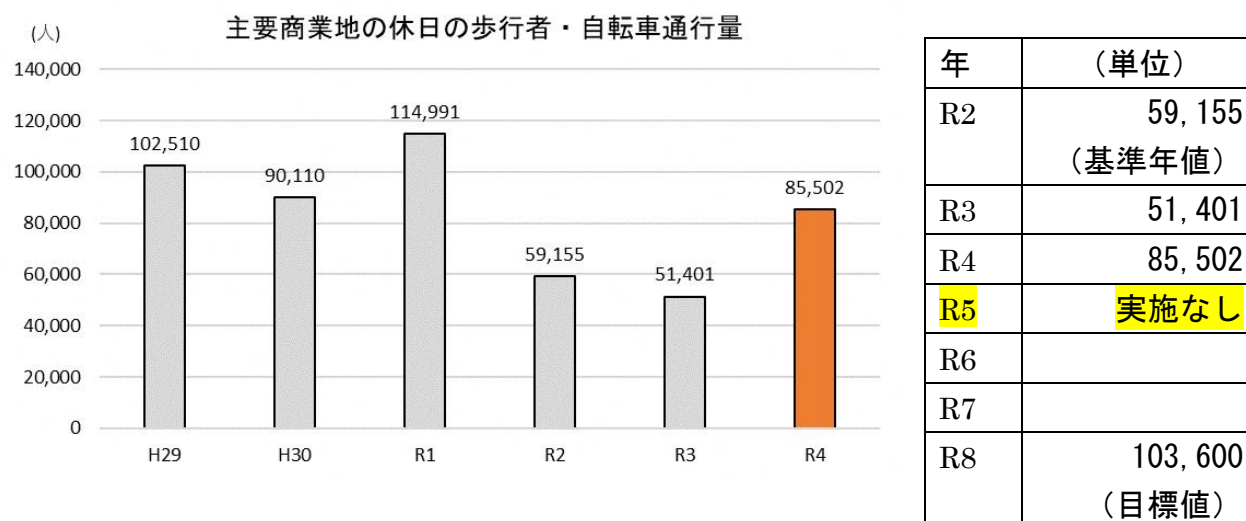
取組(事業等)の進捗状況は概ね予定どおりだが、令和5年度の実績値は基準値を下回った。しかし、令和4年度より回復傾向であることに加え、今後、中心市街地において、都市再生緊急整備地域指定を目指すこととしており、民有の大規模用地・跡地等における民間都市開発等の促進・機運醸成がなされることで、まちなかにおける人口増加が見込まれる。

引き続き戸建住宅・共同住宅等への支援制度を継続し、制度の周知に加え、金沢ならではの暮らしを首都圏に向けて発信するとともに、移住希望者の受入体制を充実させるなど、目標達成に向けて最大限に努力していく。

(2)「主要商業地の休日の歩行者・自転車通行量」

※目標設定の考え方認定基本計画 P.55~P.58 参照

●調査結果と分析



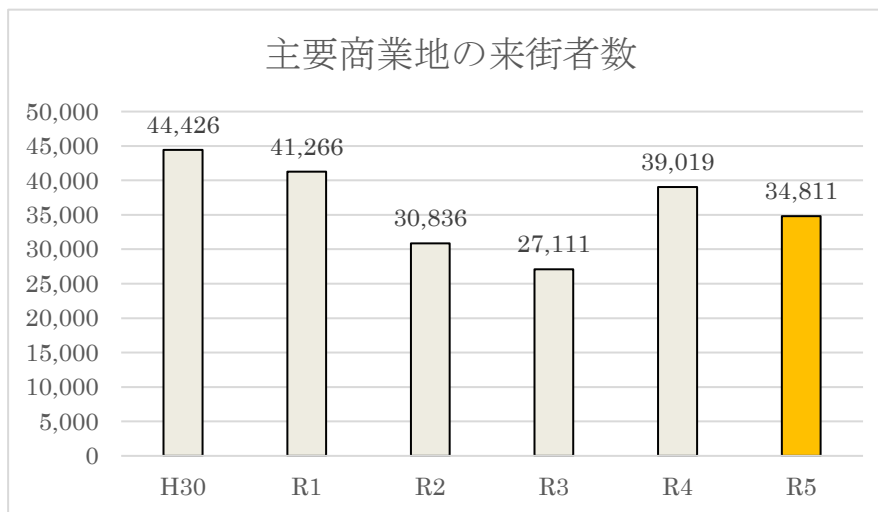
※調査方法：毎年10月の休日における中心市街地内主要商業地9か所の歩行者・自転車通行量の合計値

※調査月：令和4年10月(最新)

※調査主体：金沢市

※調査対象：中心市街地内主要商業地9か所の歩行者・自転車数

(参考数値) GPS による中心市街地来街者調査



年	(単位)
H30	44,426
R1	41,266
R2	30,836
R3	27,111
R4	39,019
R5	34,811
R6	
R7	
R8	43,289 (目標値)

※調査方法： 毎年 10 月における中心市街地内主要商業地 7 か所の
来街者の合計値（祝休日 1 日平均）
（調査対象：20 歳以上の歩行者・自転車数（外国人を除く））

※調査月： 令和 5 年 10 月

※調査主体： 金沢市

調査地点	祝休日／日
金沢百番街前	7,801
ガーデンホテル前	7,714
コラボン前	476
エムザ前	4,042
大和前	7,479
プレーゴ前	5,463
砂場ビル前	1,836
合計	34,811

〈分析内容〉

従来のカウンター方式による計測から GPS を活用した参考数値での分析となった。
新型コロナウイルス感染症が 5 月に 5 類に移行した影響があり、回復傾向となりつつも、
新型コロナウイルス感染拡大前の水準には依然として戻っておらず、長引く新型コロナ
ウイルス感染拡大の影響により、消費者マインドの冷え込みが戻りきっていないものと
考えられる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ①. 片町四番組海側地区市街地再開発事業（市街地再開発組合）

事業実施期間	令和4年度～令和9年度【実施中】
事業概要	片町地区の老朽ビル更新のため、民間による再整備を行う。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業等）（国土交通省）（令和4年度～令和9年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>目標：再開発事業の実施及び共同住宅、商業施設等、定住促進や賑わい創出施設を整備</p> <p>平成29年度に市街地再開発準備組合を設立。令和元年度より都市計画決定に向けた基本計画の策定を進めている。</p> <p>老朽ビルが多く残る都心軸において、新たに共同住宅や商業施設を整備することにより、まちなかの定住促進と賑わい創出に寄与する。</p>
事業の今後について	令和6年度、都市計画決定予定

②. 金沢未来のまち創造館交流・創造推進事業（金沢市）

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	「金沢未来のまち創造館」を活用し、最先端技術を活用した新たなビジネスや食・工芸の付加価値の創出と子供たちの独創力の育成を推進する。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金（内閣府）（令和3年度～令和5年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>○金沢未来のまち創造館利用者数</p> <p>目標値：18,109人</p> <p>R5：22,545人</p>
事業の今後について	価値創造拠点として各事業を推進していくとともに、それぞれの事業を連携させて新たな価値の創出を図る。

③. まちなか定住促進事業（金沢市）

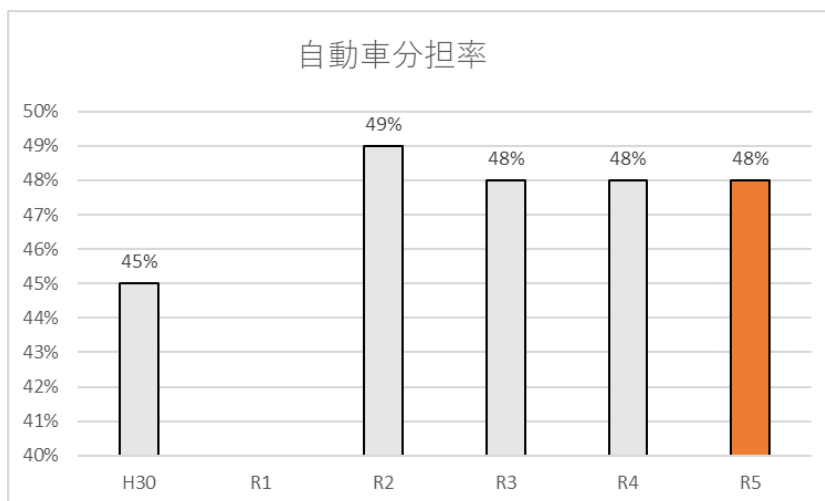
事業実施期間	平成10年度～【実施中】						
事業概要	まちなか区域において、戸建て住宅の取得や分譲マンションの購入に助成する。						
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし						
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>○まちなかマンション購入奨励金制度における 認定マンション住戸数 R1～R5：183戸</p> <p>今後片町四番組海側地区において分譲マンションを含む複合施設が計画されている。</p> <p>○各種奨励金制度活用状況（中心市街地のみ）</p> <p>目標値：95人（H28～R2 平均）</p> <table border="1" data-bbox="512 1942 1396 2038"> <tr> <td>制度</td> <td>R5利用者数</td> <td>うち45歳未満</td> </tr> <tr> <td>まちなかマンション購入</td> <td>65人</td> <td>42人</td> </tr> </table>	制度	R5利用者数	うち45歳未満	まちなかマンション購入	65人	42人
制度	R5利用者数	うち45歳未満					
まちなかマンション購入	65人	42人					

	住宅取得	46人	43人
	計	111人	85人
事業の今後について	<p>取組（事業等）の進捗状況は概ね予定どおりである。</p> <p>まちなかマンション購入奨励金制度を活用した45歳未満のマンション購入奨励金制度の活用が目標値を超えるなど堅調であることから、引き続き取組（事業等）の周知を図るとともに、居心地のいい、歩いて楽しいまちなかを形成するため、バリアフリーや無電柱化等の歩けるまちの整備や、犀川周辺エリアやまちなかの小規模公園等の公共空間を利活用する事業等を総合的かつ計画的に推進することにより、目標達成は可能であると判断する。</p>		

（3）「まちなかにおける自動車分担率」

※目標設定の考え方認定基本計画 P. 62～P. 65 参照

●調査結果と分析



年	(単位)
R30	45%
	(基準年値)
R3	48%
R4	48%
R5	48%
R6	
R7	
R8	42%
	(目標値)

※調査方法： まちなかにおける移動手段のモニタリング調査

※調査月： 9～10月

※調査主体： 金沢市

※調査対象： まちなかの発生交通量のうち、自動車によるものの割合

〈分析内容〉

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したが、長引く新型コロナウイルス感染拡大の影響により、バス等公共交通利用を避ける傾向が続いているものと見られる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 自転車利用推進事業（金沢市）

事業実施期間	平成20年度～【実施中】
事業概要	金沢市自転車活用推進計画の具現化として、自転車通行空間の整

	備、自転車駐輪環境の整備、公共シェアサイクル「まちなり」の運営、自転車ルールの遵守の啓発を実施する。		
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし		
事業目標値・最新値及び進捗状況	年度	月額会員数	月額会員の1日平均利用回数
	目標値	1,081	0.89
	R5	878	1.87
事業の今後について	<p>(まちなり関連)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次期まちなりのあり方検討 ・エリア拡大実証実験 ・路線バスの乗降データや人流データ等、様々なデータを組み合わせ、ポート新設候補地を検討 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車走行指導帯等の整備 ・駐輪場の照明のLED化、防犯カメラの設置 ・自転車ルールマナー、ヘルメット着用促進等の啓発活動 		

②. 通勤時パーク・アンド・ライド（金沢都市圏パーク・アンド・ライドシステム協議会）、
観光期パーク・アンド・ライド（パーク・アンド・ライドシステム実行委員会）、
休日等パーク・アンド・ライド（金沢市）

事業実施期間	平成8年度～【実施中】		
事業概要	通勤時・観光期等の交通渋滞の緩和を目的として、郊外の民間商業施設等の駐車場を利用したパーク・アンド・ライドシステムを実施する。		
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和4年4月～令和9年3月）		
事業目標値・最新値及び進捗状況	○通勤時パーク・アンド・ライド駐車場収容台数（石川中央都市圏全体）		
	年度	収容台数	利用者数
	目標値	2,056	1,653
	R5.10時点	1,326	654
	○観光期パーク・アンド・ライド利用者数		
	年度	収容台数	利用者数
	R5.5.3～6	987	2,460
	※開設駐車場：石川県庁、NTT 鳴和、石川県建設総合センター、東金沢駅西口 P&R 駐車場、森本駅東口 P&R 駐車場、公設花き市場		
	評価：利用者アンケートではほぼ全員が「また利用したい」と回答しており、引き続き周知に努める。		

	<p>○休日等パーク・アンド・ライド利用者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R5.4.~R6.3</td> <td>19,272</td> </tr> </tbody> </table> <p>※東金沢駅西口 P&R 駐車場、森本駅東口 P&R 駐車場の土・日・祝日の利用者数 評価：利用者数は順調に伸びており、引き続き周知に努める。</p>	期間	利用者数	R5.4.~R6.3	19,272
期間	利用者数				
R5.4.~R6.3	19,272				
事業の今後について	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤時パーク・アンド・ライド駐車場の整備、利用促進 ・通勤時、観光期等のパーク・アンド・ライド駐車場の取組を継続し、市内中心部の交通渋滞を緩和 				
③. 歩けるまちづくり推進事業（金沢市、石川県、県警）					
事業実施期間	平成14年度～【実施中】				
事業概要	地元と市長が「歩けるまちづくり協定」を締結し、構想具現化の取組に対して、各種支援を実施する。				
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和4年4月～令和9年3月）				
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>協定締結地区へのフォローアップ等を実施し、歩けるまちづくりを推進している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩けるまちづくり協定締結地区 6地区 ・まちなかアートベンチの設置 11か所22基 				
事業の今後について	<ul style="list-style-type: none"> ・要望地区の状況調査 ・歩けるまちづくり協定フォローアップ ・まちなかアートベンチの維持管理 				
④. モビリティ・マネジメント事業（金沢市）					
事業実施期間	令和3年度～【実施中】				
事業概要	幅広い層に向けて、過度に自動車に依存しない意識を育むための社会実験や講演等を実施し、公共交通機関を利用したまちなかへの来街や周回を促進する。				
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和4年4月～令和9年3月）				
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>幅広い層に対して意識啓発を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カーフリーデー来場者（R5）4,000人 ・高齢者モビリティ・マネジメント開催（R5）2回37人 				
事業の今後について	<ul style="list-style-type: none"> ・マイカーから公共交通への転換を啓発するカーフリーデーイベントを実施 ・学生・大学・交通事業者・行政が連携して、バスと公共シェアサイクル「まちなか」を組み合わせた公共交通の利用促進策を検討し試行する。併せて、学生自身が「まちなか」の運営に関わることを 				

通じて、「まちなり」を切り口としたMMの担い手となることを目指す

- ・高齢者交通安全教室を活用し、高齢者に対してモビリティ・マネジメント講義を実施
- ・商店街を中心にトランジットモールの社会実験を実施

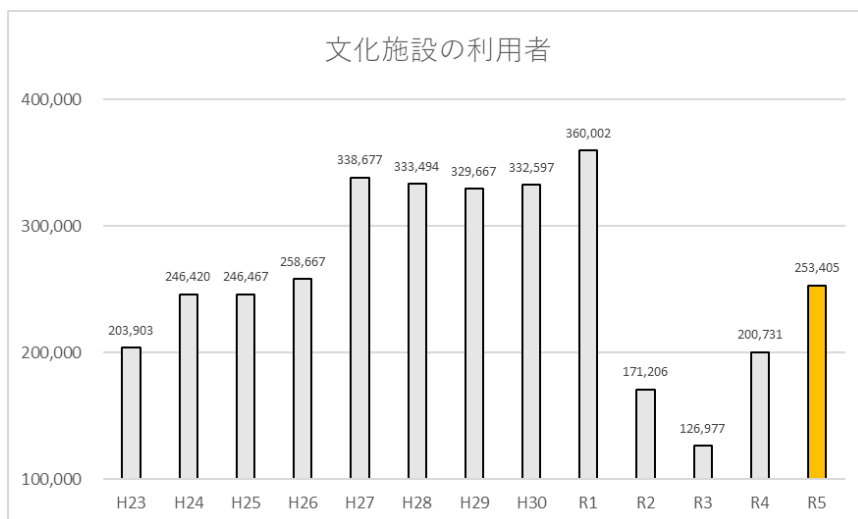
●目標達成の見通し及び今後の対策

取組（事業等）の進捗状況は概ね予定とおりである。

実績値について、新型コロナウイルス感染症拡大以前の水準には満たないものの、公共シェアサイクル「まちなり」の利用増や、「通勤時パーク・アンド・ライド」等利用の堅調な推移により、回復傾向にあり、引き続き取組（事業等）の周知を図り、施策を総合的かつ計画的に推進することにより、目標達成は可能であると判断する。

（４）「中心市街地の市文化施設（14 施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数」

※目標設定の考え方認定基本計画 P. 52～P. 54 参照



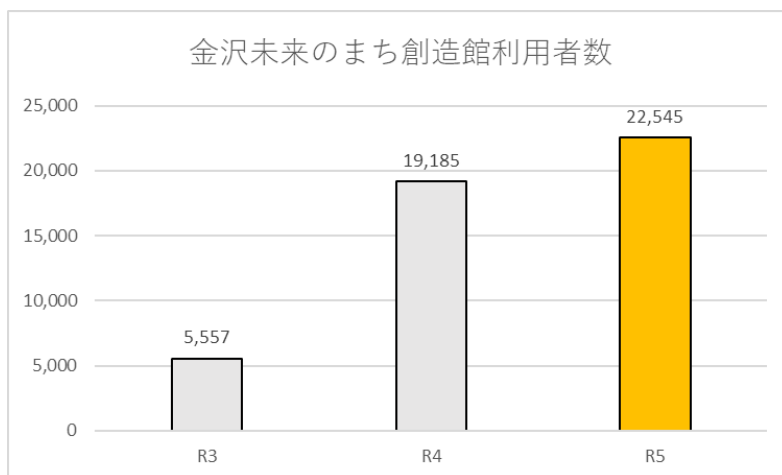
年	(単位)
R2	171,206 (基準年値)
R3	132,534
R4	219,916
R5	275,950
R6	
R7	
R8	357,000 (目標値)

※調査方法：利用者数を集計

※調査月：1月～12月

※調査主体：金沢市

※調査対象：中心部の市文化施設（14 施設）の利用者数



- ※調査方法：利用者数を集計
- ※調査月：4月～3月
- ※調査主体：金沢市
- ※調査対象：金沢未来のまち創造館の利用者数

〈分析内容〉

文化施設については、新型コロナウイルス感染症の5類移行の影響もあり、利用者数が増加したものと推測される。

金沢未来のまち創造館については、令和3年8月の供用開始以降、様々なイベントの開催等によりすでに目標を上回る利用者数となった。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 文化施設活性化推進事業（金沢市）

事業実施期間	平成30年度～【実施中】
事業概要	文化施設への誘客を促進するため、文化施設の展示機能を強化するなど、金沢の文化を体験できるコンテンツ等を開発
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和4年4月～令和9年4月）
事業目標値・最新値及び進捗状況	区域内の文化施設（14施設）の来場者数 253,405人（R5） 評価：能登半島地震の影響もあり、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準には戻っていないものの、イベントの開催等により利用者数は回復傾向にある。
事業の今後について	引き続き、本市の文化体験ができるコンテンツによる魅力を発信し、まちなかの回遊を促し、賑わい創出を図っていききたい。

②. 茶の湯のまち金沢魅力発信事業（金沢市）

事業実施期間	平成30年度～【実施中】
事業概要	本市の茶の湯文化や茶室の魅力を発信するほか、全国学生金沢大茶会を開催する
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和4年4月～令和9年3月）
事業目標値・最新値及び進捗状況	全国学生大茶会における、参加校（大学茶道部9及び参加者 参加校：28校 約240人、茶席参加者：約1,800人（R5） 評価：新型コロナウイルス感染症拡大以来3年ぶりに開催することができ、全国から多くの学生が参加した。
事業の今後について	引き続き、中心市街地に集積する茶席を活用し、交流人口拡大を目指していく。

③. 金沢未来のまち創造館交流・創造推進事業（金沢市）

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
--------	-------------

事業概要	「金沢未来のまち創造館」を活用し、最先端技術を活用した新たなビジネスや食・工芸の付加価値の創出と子供たちの独創力の育成を推進する。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金（内閣府）（令和3年度～令和5年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	○金沢未来のまち創造館利用者数 目標値：18,109人 R5：22,545人
事業の今後について	価値創造拠点として各事業を推進していくとともに、それぞれの事業を連携させて新たな価値の創出を図る。

●目標達成の見通し及び今後の対策

取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。

新型コロナウイルス感染症の5類移行を好機ととらえ、引き続き、取組（事業等）を進め、施設利用者のさらなる増加につなげていくとともに、今後も目標達成に向けた施策を総合的かつ計画的に推進する。